



2024年8月14日

各位

会社名 株式会社マクロミル
代表者名 代表執行役社長 CEO 佐々木 徹
(コード番号: 3978 東証プライム)
問合わせ先 執行役 CFO 橋元 伸太郎
(TEL: 03-6716-0706)

配当方針の変更に関するお知らせ

株式会社マクロミル(本社:東京都港区、代表執行役社長 CEO:佐々木 徹、以下、当社)は、2024年8月14日の取締役会において、配当方針の変更について下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当方針の内容

(変更前)

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営上の施策の一つとして認識しています。一方で、将来の成長投資に必要な内部留保の充実と、財務基盤の確立、株主への利益還元を総合的に勘案することが大切だと考えています。すなわち、当社の資本コストを上回る投資案件がある場合には、企業価値向上につながる戦略的投資を実行し、持続的な売上高及び利益成長を実現することと、それを可能とする健全な財務基盤の確立を優先することが、株主の皆様との共通の利益の実現に資すると考えています。

従って当社は、30%の連結配当性向を目標としつつ、当面の間は上記の考え方に沿う範囲の中で、株主の皆様に対して、安定的かつ継続的な増配を実現する形で剰余金の配当を行うことを基本方針とします。

また、自己株式の取得についても、事業展開、投資計画、内部留保の水準、業績動向等を総合的に勘案しながら、利益還元策の一環として機動的な実施を検討していくことを引き続き基本方針とします。

(変更後)

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営上の施策の一つとして認識しています。一方で、将来の成長投資に必要な内部留保の充実と、財務基盤の確立、株主への利益還元を総合的に勘案することが大切だと考えています。すなわち、当社の資本コストを上回る投資案件がある場合には、企業価値向上につながる戦略的投資を実行し、持続的な売上高及び利益成長を実現することと、それを可能とする健全な財務基盤の確立を優先することが、株主の皆様との共通の利益の実現に資すると考えています。

このため、当社は、中期経営計画の最終年度である2026年6月期までの期間において、株式売却等の一過性損益を除く連結配当性向50%を目標とし、累進配当を実現する形で剰余金の配当を行う方針です。

また、自己株式の取得についても、事業展開、投資計画、内部留保の水準、業績動向等を総合的に勘案しながら、利益還元策の一環として機動的な実施を検討していきます。

2. 配当方針の変更理由

当社は、資本コストや株価を意識した経営の実現のため、当社事業の持続的な利益成長を通じて、実績に合わせて株主還元をさらに充実させていくことが重要と考え、配当方針を変更することといたします。

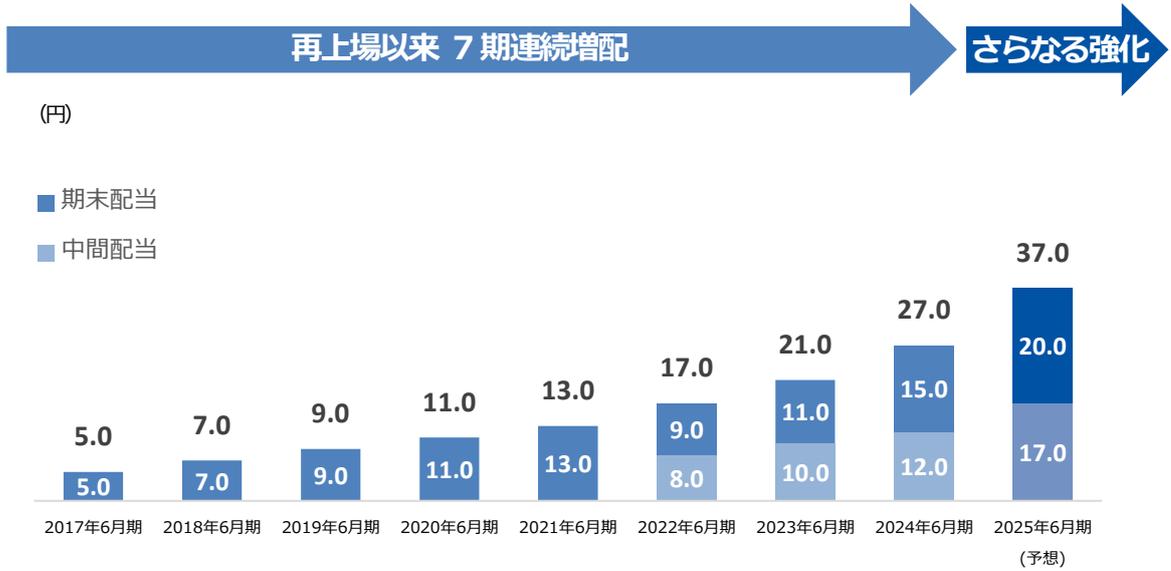
3. 適用時期

2025年6月期より適用します。

(ご参考) 2025年6月期(2024年7月1日~2025年6月30日)の配当予想

	年間配当金 (円 銭)		
	第2四半期末	期末	合計
2025年6月期配当予想	17.00	20.00	37.00
(参考)2024年6月期実績	12.00	15.00	27.00

配当金の推移



以上